

第47週の発生動向 (2004/11/15~2004/11/21)

- 1 インフルエンザについては、上十三保健所管内で1名の届出がありました(型は不明)。
- 2 手足口病については、先週に引き続き八戸、上十三保健所管内における報告数が増加していることから注意が必要です(八戸:先週25人→今週37人、上十三:先週16人→今週27人、むつ:先週3人→今週12人)。
- 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎については、例年この時期から増加しますので注意が必要です。

第47週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ									1	0.11			1	0.02	1
(60) 咽頭結膜熱			1	0.10	1	0.11							2	0.05	-2
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	1.38	19	1.90	4	0.44			9	1.50	3	0.75	46	1.10	10
(62) 感染性胃腸炎	24	3.00	20	2.00	10	1.11	2	0.40	1	0.17	10	2.50	67	1.60	16
(63) 水痘	8	1.00	31	3.10	5	0.56	14	2.80	6	1.00	3	0.75	67	1.60	-34
(64) 手足口病			1	0.10	37	4.11	2	0.40	27	4.50	12	3.00	79	1.88	34
(65) 伝染性紅斑			3	0.30	2	0.22							5	0.12	-1
(66) 突発性発疹	4	0.50	9	0.90	7	0.78	1	0.20	2	0.33	3	0.75	26	0.62	2
(67) 百日咳	1	0.13							1	0.17			2	0.05	2
(68) 風疹															-1
(69) ヘルパンギーナ	2	0.25	1	0.10			1	0.20					4	0.10	-4
(70) 麻疹(成人を除く)															
(71) 流行性耳下腺炎	2	0.25	2	0.20	10	1.11	6	1.20	1	0.17			21	0.50	-11
(73) 急性出血性結膜炎															
(74) 流行性角結膜炎			2	0.67	1	0.50	2	2.00					5	0.45	1

	定点数			
	インフル エンザ	小児科	眼科	基幹
青森	13	8	2	1
弘前	15	10	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	64	42	11	6

※ インフルエンザ定点については、内科定点と小児科定点を合わせたものです。

■ は注意報、■ は警報です。 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (16年計には、今回届出された人数を含む)

- | | | |
|-----------------------------|----------------------|-------------|
| (14) 腸管出血性大腸菌感染症 (三類全数把握疾患) | 上十三保健所管内 (O157): 2人 | (16年計 27人) |
| (29) つつがむし病 (四類全数把握疾患) | 八戸保健所管内: 1人 | (16年計 5人) |
| (59) RSウイルス感染症 (五類定点把握疾患) | 五所川原: 1人、弘前保健所管内: 3人 | (16年計 79人) |
| (82) マイコプラズマ肺炎 (五類定点把握疾患) | 八戸保健所管内: 1人 | (16年計 101人) |

感染症の窓

手足口病

(hand, foot and mouth disease : HFMD)

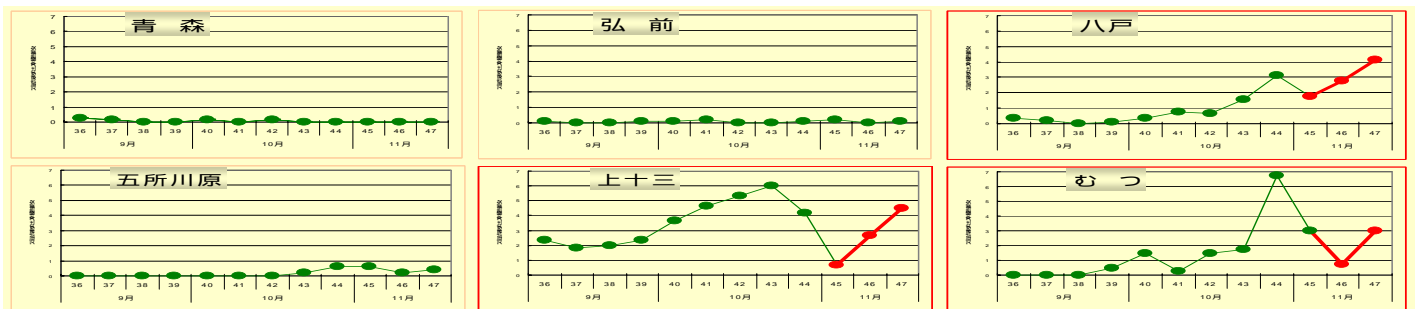


図1 各保健所管内における定点あたりの患者報告状況

近年、秋から冬にかけても発生が続いている傾向があります。

感染経路・予防 → 飛沫や糞口感染及び水疱内容からの直接感染があります。症状が無くなっても2~4週間は便などからウイルスが排出されることがあるので、**排泄物の取り扱いや手洗いには十分な注意が必要**です。

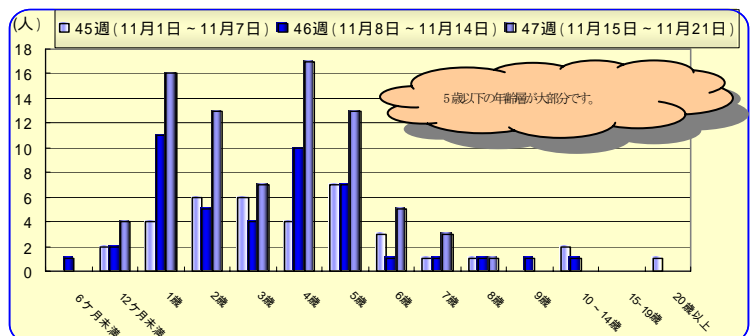


図2 青森県における年齢別患者報告状況 (11月1日~11月21日まで)